

## 少雨に対する農作物の管理について

平成31年4月23日  
農業技術課

県内では、4月10日に降雨(降雪)が確認されて以降、まとまった降雨がなく、乾燥状態が続いています。

1ヶ月予報では5月にかけて「気温は平年並みか高く、降雨量は平年並み」で晴れの日が多いと予想されています。

直近の週間予報でも降雨の予報はあるものの、まとまった降雨は期待できないことから、乾燥による影響が心配されますので、次の管理を徹底して下さい。

### 甲府の降水量

月	降水量 mm	平年値 mm	平年比	備考
1月	6	40.1	15%	
2月	33	46.1	72%	
3月	63.5	87.8	72%	
4月	36	77.7	46%	23日まで
期間計	138.5	251.7	55%	

### 4月23日8時 山梨県の週間天気予報

日付	23 火	24 水	25 木	26 金	27 土	28 日	29 月	
山梨県	晴時々曇	曇のち一時雨	曇一時雨	曇一時雨	晴時々曇	晴時々曇	曇時々晴	
府県天気予報へ								
降水確率(%)	-/10/0/10	20/40/40/50	50	50	20	10	40	
信頼度	/	/	C	C	A	A	C	
甲府	最高(℃)	25	23	26 (23~28)	25 (23~31)	23 (21~28)	23 (20~27)	21 (19~27)
	最低(℃)	/	15	15 (13~18)	15 (14~19)	11 (9~14)	8 (6~10)	9 (6~13)
平年値	降水量の合計		最高最低気温					
甲府	平年並 6 - 17mm		最低気温		最高気温			
			10.2℃		22.4℃			

### <果 樹>

立木果樹では果実肥大の促進、ブドウでは芽揃いやジベレリン処理の安定化を図るため、定期的な灌水を実施する。

#### (露地)

- 立木果樹では、7日間隔で20<sup>リットル</sup>程度、ブドウでは10日間隔で20<sup>リットル</sup>程度の十分な灌水を行う。
- 灌水設備がない園では、樹冠下を中心に1樹当たり300リットル程度の灌水を行う。
- 草生栽培を行っている園では、定期的な草刈りを実施し、水分競合を避ける。
- 樹冠下には、ワラや刈草を敷き土壌の乾燥を防止する。とくに若木や移植樹では注意する。

- ・ジベレリン処理に入るデラウェアは、処理前10日頃から定期的な灌水を行うが、処理直前の急激な灌水は花振るいを助長するので控える。また、効果を高めるために処理後の散水を実施する。

#### (施設)

- ・高温障害対策として換気や灌水を徹底する。
- ・モモハウスでは、硬核期から収穫期の園では、落果や果肉軟化が心配されるため、ハウス内の高温と乾燥には十分注意するとともに、換気や灌水を徹底する。

#### <野菜>

##### (施設トマト、キュウリ)

- ・施設内が高温・乾燥にならないよう、日中25～28℃前後を目標に換気し、適宜、かん水する。

##### (スイートコーン)

- ・開花・受粉期の水不足が品質等に影響することから、適宜、かん水する。  
(一度に多量に行わない)

##### (露地野菜)

- ・定植時に十分かん水を行い、活着を促す。
- ・定植後に乾燥が続く、朝方でも葉がしおれるような場合は、かん水する。  
(土壌の適湿に努める)

#### <花き>

##### (鉢花、洋ラン)

- ・日中、ハウス内が高温にならないよう、遮光や換気を徹底する。また、乾きやすいため、こまめな水やりに努める。